

# 私の街の…第3回… コーディネーター

コーディネーターとは(地域によって名称は異なります)学校外部にある教育力を学校内外の教育活動に効果的に導入するために、学校と外部の教育力をつなぐ役割を果たしています。学校内にコーディネーターがいることで、教員はコーディネーターとともに授業を組み立て、実践に臨むことができます。

**杉並区福祉** 杉並区では、教育委員会と学校教育コーディネーターや地域のNPO法人などと連携し、以下のような形で、学校と地域をつなげる人材の育成に取り組んでいます。特に、NPO法人スクール・アドバイス・ネットワークは、地域の協力団体のリーダー的な存在として、学校を支援する役割を担っています。

## 学校教育コーディネーター

杉並区では、都教委と連携し平成14年度からコーディネーターの育成及びその効果的な活用について実践を重ねてきました。区には現在15名のコーディネーターがおり、区内各地域で精力的な活動を展開しています。

### 杉並区学校教育コーディネーターの主な役割

- 総合的な学習の時間、各教科等における学校が求める人材の紹介
- 活動を円滑に進めるための、地域・企業等との連絡及び調整等、学校と外部をつなぐパイプ役
- 教員との協力による、授業や活動等の企画・提案

このような活動を通して、地域教育充実のための橋渡しを行っています。

## 三宅さんに、コーディネーターの仕事について話を伺いました。

### 地域の一員として子どもたちのために

以前、子どもたちの野球の指導をお手伝いしているときには、PTAの方々に面倒を見てもらう機会が数多くあり、そのときは本当にお世話になったという思いがあります。地域の人に育てられているという実感がありました。そこで、地域の中の一員として子どもたちの為にできることはないだろうかと考えていたときに、区のコーディネーター制度を知り、地域に少しでも貢献したいという思いから養成講座を受講し、コーディネーターになりました。

例えばこの町に住んでいる高校生の中には、部活動を途中でやめてしまうなど、残念ながら目的を失い、ただ漫然と過ごしている子がいます。そのような子どもたちに地域の中で目的をもたせることで、子どもたちの目が輝きを取り戻し、生き生きと生活するようになっていきます。そんな、子どもたちの心の根っこ部分に働きかけることができればと常に考えています。

### 子どもや学校のニーズを引き出す

コーディネーターの仕事は、こちらから押し付けるのではなく、子どもたちや学校のニーズを引き出していく仕事だと思っています。そのためには、なんとと言っても先生方とのコミュニケーションが重要になります。学校のカリキュラムや、先生方の考え方をよく理解し、その上で授業を成功させるために何をやっていくかということを考えて取り組んでいます。

高円寺中では、前期には総合的な学習の時間で、様々な職業の方を講師に招き話を聞くという形式の進路学習を実施しましたが、その際にも副校長先



講師の方々とのお全体会



ボクシングジム会長

### 今回御紹介するコーディネーター

みやけ はるひさ  
**三宅 晴久さん**

杉並区立三谷小学校・高円寺中学校  
学校教育コーディネーター



平成17年度杉並区教育委員会主催による「次代を見据えた地域教育リーダー養成講座」に応募・受講後、区の選考に合格し、学校長の推薦を得て、今年度より杉並区立三谷小学校・高円寺中学校の学校教育コーディネーターとして活躍。「地域で子どもを育てる」をモットーに、区の講座で培ったノウハウを生かし、子どもたちに質の高い教育を提供するための様々な活動を展開中。

### 杉並区「次代を見据えた地域教育リーダー養成講座」

地域を生かす学校教育・学校外教育を豊かにするため、様々な人や団体を学校内外での取組につなげるための人材養成講座。

昨年度は、全6回の講座を1回開催しました。

学校を舞台とした地域・学校連携を進めるリーダー役やコーディネーターとしての活動に興味や関心のある方を対象に、教育支援NPO・地域運営学校・学校教育コーディネーター等が講師となり、学校教育理解・学校連携の基本・地域教育リーダーの役割等について事例検討も含め幅広く学び、地域や学校に貢献する資質・能力の育成並びに養成を行いました。



マイクロソフト Xboxの方

生や他の先生方と相談を重ねるとともに、子どもにもアンケートをとり、講師の人選等の参考にしました。三谷小では、NPOの方と協力し、保護者の方も参加していただき「やご救出大作戦」を実施しました。これらの計画に際しては、講師の人選や、NPOとの調整など適切なサポートを行ってくれる区の姿勢もとても頼もしいです。将来をしっかりと見通した教育が進められているなど実感します。

### 自分たちの手で学校をつくる

今の段階で課題と感じていることは、保護者の参加が少ないということです。学校の実態を知ってもらうため、そして自分たちの手で学校をつくっていくという意識をもってもらうためにも、保護者ももっと子どもの活動に目を向け、学校での活動に参加して欲しいと思います。保護者とともに子どもの将来を考え、子どもたちの選択肢をできるだけ広げて社会へ送り出したいのです。

### 終わりに

「子どもたちから教えられることや感動させられることも多く、そんな子どもたちに、すこしでもお土産を持たせて、社会に返したい。」とお話してくださった三宅さん。同席してくださった校長先生、副校長先生、また区の担当の方との息もぴったりで、連携のよさを十分に感じることができました。皆さんの地域でもこのような連携にチャレンジしてみませんか！

